

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2022年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	ジェンダー論		
担当者(Instructors)	山口 佐和子	配当年次(Dividend year)	3
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

この授業の目的は、ジェンダー概念の基本を理解し、ジェンダーの視点からわたしたちの社会が抱える問題をとらえ、それらに立ち向かうヒントを得ることにある。そのために、この授業では、まずジェンダー概念の成り立ちの過程、ジェンダー関連専門用語を学習してもらう。ジェンダー問題にかかわる世界と日本の歴史についても法律を中心に扱っていく。そのうえで、さまざまなわたしたちの身の回りの社会問題を、ひとつひとつ丁寧に読み解いていく。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	講義
授業の方法(Class method)	テキストを使用し授業を実施する。必要に応じて補足資料を配布する。メディア教材で適切なものがある場合は活用する。アクティブラーニングの手法を導入し、ディスカッション等にも取り組ませる。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	オリエンテーション	【対面】授業の概要、テキスト・参考図書、成績評価方法等を説明し、質問も受け付ける。	<input type="checkbox"/>
第2回	ジェンダー概念(1)	【対面】「ジェンダー」という語の起源を解説し、高校までに学習したジェンダー概念と異なる新しいジェンダー概念について解説する。ジェンダー関連専門用語についても説明する。	<input type="checkbox"/>
第3回	ジェンダー概念(2)	【対面】18世紀から20世紀にかけての女性解放運動からジェンダー平等を推進する現代までの動きを解説する。	<input type="checkbox"/>
第4回	家族	【対面】家族の定義、家族類型、家制度、近代家族モデルなどについて解説したのち、現代の家族が抱える暴力・虐待・同性婚・夫婦別姓・性別役割分業などの問題に触れる。	<input type="checkbox"/>
第5回	結婚	【対面】結婚の意味と機能、結婚観の変化、生涯未婚率の激増、離婚の増加、再婚事情についてさまざまなデータをもとに解説する。	<input type="checkbox"/>
第6回	子育て	【対面】ワンオペ育児、3歳児神話、1.57ショック(少子化)、児童虐待などをキーワードとして今後の子育て政策の課題を説明する。	<input type="checkbox"/>
第7回	労働(1)	【対面】女性労働者と男性労働者の待遇状況、および男女雇用機会均等法・労働者派遣法・パートタイム労働法について解説する。マタニティーハラスメントにも触れる。	<input type="checkbox"/>
第8回	労働(2)	【対面】日米のセクシュアル・ハラスメントへの取り組みについて説明する。また、育児介護休業法・次世代育成支援対策推進法・女性活躍推進法にも触れる。	<input type="checkbox"/>
第9回	貧困・教育	【対面】子どもたちの教育格差を世界レベルで考える。学校内にも格差を生む仕掛けがあることを示す。また現代社会において貧困の深刻さが増していることに注目する。	<input type="checkbox"/>
第10回	高齢者	【対面】日本は超高齢社会である。貧困や介護の問題に巻き込まれやすい傾向のある高齢者やその家族を支援する政策の課題を解説する。	<input type="checkbox"/>
第11回	女性に対する暴力(1)	【対面】DV・デートDVについて、日米の取り組みおよび法律について解説する。被害者の証言も紹介する。ストーカーについても触れる。	<input type="checkbox"/>
第12回	女性に対する暴力(2)	【対面】世界レベルで、女性に対する暴力をとらえる。DVのほか、ダウリ、FGM、サティ、人身売買について解説する。	<input type="checkbox"/>
第13回	リプロダクティブ・ヘルス・アンド・ライツ	【対面】リプロダクティブ・ヘルス・アンド・ライツ(性と生殖に関する健康と権利)の定義を明らかにし、母体保護法の問題点を解説する。代理母・体外受精にも触れる。	<input type="checkbox"/>

第14回	セクシュアリティの多様性	【対面】DSD（性分化疾患）、性同一性障害、同性愛について、日米の取り組みの歴史および法律やサブカルチャーにも触れる。	<input type="checkbox"/>
第15回	全体のまとめ	【対面】第1回から第14回までの内容を振り返り、学生からの質問を受け付け、この授業全体で学んだことをさらに深める。	<input type="checkbox"/>

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

予習：次回の学習予定範囲のテキストの部分を読む。自分が興味を持ったジェンダーに関わる問題については、自分なりに調べ、教員への質問があればまとめておく。日頃から新聞・ニュース等で国際社会や日本社会におけるジェンダー問題に関連する情報をチェックし、教員に聞かれた場合には、自分の意見とともに答えられるようにしておく。（2時間程度）復習：授業で学んだことを復習する。理解できない点があれば、ノートにまとめ、次回の授業で教員に質問できるようにしておく。（2時間程度）

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

課題を出した場合は、翌週にまとめてフィードバックし、全体で共有する機会を設ける。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◆ 2019全学共通DP1	ジェンダー概念を正しく理解し、関係する世界及び日本の歴史・法律を学び、新しい知識を得る。 ジェンダー視点で社会問題を捉え、それらの問題に立ち向かうヒントを得る。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
70%			30%	

■テキスト(Textbooks)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	杉本貴代栄編著『女性学入門 [改訂版] ジェンダーで社会と人生を考える』ミネルヴァ書房	978-4-623-08208-7
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	山口佐和子『アメリカ発DV再発防止・予防プログラム』ミネルヴァ書房	978-4-623-05601-9
2		
3		
4		
5		